



研修医日記

作成者：田口 ころろ（2年次）

こんにちは。約3ヶ月ぶりの日記担当となります田口です。10月・11月と2ヶ月間むつを離れて研修しており、12月に戻って参りました。帰ってきてからは毎日のように雪が降っており、本格的な冬の到来を感じずにはられません。

さて、10月は大間病院で1ヶ月間の地域医療研修を行ってきました。大間病院には、大間町と、隣接する風間浦村、佐井村の北通り地域から患者さんが集まります。この地域は周辺都市からのアクセスが容易ではなく、鉄道網もないため「陸の孤島」となりやすい環境にあります。実際に、8月の豪雨災害でむつ市へアクセスする主要道路の橋が崩落したり、風間浦村内でも複数箇所です砂崩れが生じたりした影響で主要道路が通行できなくなり、別ルートでかなり遠回りをしなければむつ市にアクセスできないという状態になったそうです。大間病院研修では月に何回かしか開かない遠くの診療所の診療へ赴いたり、訪問診療で患者さんのお宅を訪問したり、北通り地域を駆け回るような1ヶ月間を過ごさせていただきました。先生方だけではなく、コメディカルの方々や福祉関係のスタッフさんの仕事に参加する機会も多く、患者さんの病気だけでなく、地域で・家庭での患者さんの生活も診る地域医療の真髄に触れることができた気がします。お世話になった先生方、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

北通り地域は、仏ヶ浦に代表されるように広大な自然を有しています。趣味のドライブも捗りました。まだ行ったことがないという方、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。（私の心に響いた岩たちの写真を添えておきます。）

▼材木岩（大間町）



▼願掛岩（佐井村）



※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。